

株式会社鈴鋳工業 環境経営レポート

2023年度

(対象期間 2023年6月1日～2024年5月31日)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



目 次

1. 組織の概要・対象範囲	1 項
2. 実施体	2 項
3. 環境経営方針	3 項
4. 環境経営目標	4-1,4-2,4-3項
5. 環境経営計画	5-1,5-2,5-3項
6. 環境経営目標の実績	6-1,6-2,6-3項
7. a 環境経営計画に基づき実施した取組内容	7-1,7-2,7-3項
7. b 環境経営計画の取組結果とその評価	7-1,7-2,7-3項
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	8-1,8-2,8-3項
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9 項
10. 代表者による全体評価と見直し・指示、結果報告書	10 項
11. 《活動報告》「持続可能な」活動を考える 中小板金企業におけるSDGsの	11 項 ～

2024年9月11日発行

1. 組織の概要、対象範囲

1. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

株式会社 鈴鉦工業
代表取締役社長 鈴木 爾

2) 所在地

本社大和工場 神奈川県大和市柳橋5-7-6
本社大和工場 倉庫1 神奈川県大和市柳橋5-6-2 中村工場4号室
本社大和工場 倉庫2 神奈川県大和市柳橋5-6-1 北嶋工場2号室
群馬工場 群馬県邑楽郡邑楽町石内422-4

3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 鈴木 淳 TEL:046-267-1177
担当者 技術管理部課長 室宮 良典 TEL:046-267-1177
電子メール y_muromiya@suzuban.com

4) 事業活動内容

金属加工品の製造、販売

5) 事業の規模

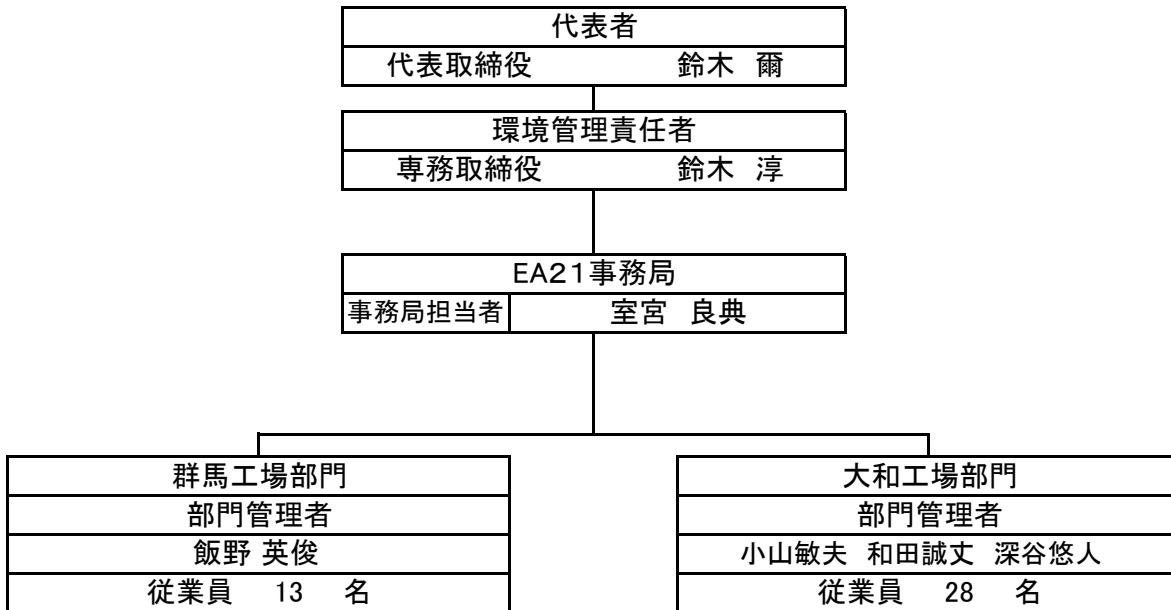
	事業年度		6月～5月			
	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	億円	4.8	4.0	4.7	5.1	5.4
従業員	人	43	44	41	44	48
延べ床面積	m ²	703.91	813.17	892.66	892.66	892.66

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象組織 「1. 2)所在地」欄に記載
- 2) 活動 「1. 4)事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

2. 実施体制

環境経営システム実施体制図



役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。 ・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)を用意する。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐及び部門管理者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

3. 環境経営方針



環境経営方針

〔 企業理念 〕

株式会社鈴鋳工業は、「会社は人で成る」をスローガンに掲げ、『法令遵守の責務』『顧客満足の追求』『生産性・品質・原価・納期・安全・士気・環境の優位性』『社員力量の向上』『技術力の独創性』『社会的責任遂行』を企業理念とし、この企業理念を基礎に環境経営を実行します。

〔 環境経営の指針 〕

当社は、企業理念を踏まえ、製造業として環境負荷の少ない事業活動、環境に配慮した製品提供、計画(P)・実行(D)・評価(C)・改善(A)サイクルを基本とした継続的な環境改善活動に積極的に取組み、自らが設定した数値目標を達成します。

〔 環境経営への取組の基本的方向 〕

1. 二酸化炭素排出量の削減(重点課題)
 - ① 生産設備、付帯設備機器の省エネ化により電気使用量に数値目標を定め削減に努めます。
 - ② ガソリン・軽油の使用量に数値目標を定め削減に努めます。
 - ③ その他、化石燃料使用量削減に努めます。
2. 廃棄物排出量の削減
 - ① 事業所から発生する一般廃棄物及び産業廃棄物の削減に努めます。
 - ② 資源の有効利用とリサイクルを推進します。
3. 水使用量の削減
 - ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。
4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
 - ① 製品の品質向上・効率向上に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 環境関連法令の遵守に努めます。

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2019年1月31日

株式会社 鈴鋳工業
代表取締役 鈴木 爾

4-1. 環境経営目標

2023年度

環境経営目標設定表(本社大和工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	年度目標								
			2022年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)		2023年度		2024年度		2025年度				
		原単位指標	売上高(万円)	32450		32400		32400		32400			
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			3.8070	0.474	3.7689		3.7309		3.6928				
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.2130	2.32	0.2109		0.2087		0.2066				
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
			軽油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.7210	2.58	0.7138		0.7066		0.6994				
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
			LPG原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
0.0067	3.00	0.00663		0.00657		0.00650							
kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円							
		灯油原単位											
		0	2.49	使用しない		使用しない		使用しない					
		kg-CO2/万円											
		合計CO2原単位(kg-CO2/万円)			基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	kg-CO2/万円	3	%削減
		4.7477		4.7002		4.6527		4.6053					
		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下		kg-CO2/万円以下		kg-CO2/万円以下					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018~2022年度平均)		2018~2022年度平均に対し	1	%削減	2018~2022年度平均に対し	2	%削減	2018~2022年度平均に対し	3	%削減
			450.0		445.5		441.0		436.5				
			kg/年		kg/年以下		kg/年以下		kg/年以下				
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量(2018~2022年度平均)		2018~2022年度平均に対し	1	%削減	2018~2022年度平均に対し	2	%削減	2018~2022年度平均に対し	3	%削減
	3,089.4		3,059		3,028		2,997						
	kg/年		kg/年以上		kg/年以上		kg/年以上						
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	
		279		276.2		273.4		270.6					
		m ³ /年		m ³ /年以下		m ³ /年以下		m ³ /年以下					
4	化学物質の適正管理	化学物質保管量		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理					
		14.2		kg/年		kg/年		kg/年					
5	M社の不良率の削減	不良率		基準値に対し	1	%改善	基準値に対し	2	%改善	基準値に対し	3	%改善	
		0.17		0.168		0.167		0.165					
		%/年		%以下		%以下		%以下					

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021・2022年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

4-2. 環境経営目標

2023年度

環境経営目標設定表(群馬工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 <small>2022年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)</small>	CO2 換算係数	年度目標								
					2023年度		2024年度		2025年度				
	原単位指標	売上高(万円)	19340		18000		18000		18000				
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			3.3750	0.474	3.3413	3.3075	3.2738						
			kg-CO2/万円	(東電)	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
		2)化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.2790	2.32	0.2762	0.2734	0.2706						
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
			軽油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.2220	2.58	0.2198	0.2176	0.2153						
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円						
			LPG原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
0.00620	3.00	0.00614	0.00608	0.00601									
kg-CO2/万円		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円	kg-CO2/万円									
灯油原単位				使用しない	使用しない	使用しない							
0	2.49												
kg-CO2/万円													
合計CO2原単位 (kg-CO2/万円)			基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	kg-CO2/万円	3	%削減		
3.8822		3.8434	3.8046	3.7657									
kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円以下									
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 (2018~2022年度平均)		2018~2022年度平均に対し	1	%削減	2018~2022年度平均に対し	2	%削減	2018~2022年度平均に対し	3	%削減
			1,257.9	1,245	1,233	1,220							
		kg/年		kg/年以下	kg/年以下	kg/年以下							
		産業廃棄物排出量の削減 (有価物は除く)	廃棄物排出量 (2018~2022年度平均)		2018~2022年度平均に対し	1	%削減	2018~2022年度平均に対し	2	%削減	2018~2022年度平均に対し	3	%削減
19,116.0	18,924.8		18,733.7	18,542.5									
kg/年		kg/年以上	kg/年以上	kg/年以上									
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	
		101	100.0	99.0	98.0								
		m ³ /年	m ³ /年以下	m ³ /年以下	m ³ /年以下								
4	化学物質の適正管理	化学物質保管量		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理					
		0	化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理						
		kg/年		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理					
5	M社の不良率の削減	不良率		基準値に対し	1	%改善	基準値に対し	2	%改善	基準値に対し	3	%改善	
		0.17	0.168	0.167	0.165								
		%/年	%以下	%以下	%以下								

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021・2022年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

4-3. 環境経営目標

2023年度

環境経営目標設定表(全社)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値 2022年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)	CO2 換算係数	年度目標								
					2023年度		2024年度		2025年度				
原単位指標			売上高(万円)	51790	50000		50000		50000				
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			3.6450	0.474 (東電)	3.6086		3.5721		3.5357				
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
		2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.2380	2.32	0.2356		0.2332		0.2309				
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
			軽油原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
			0.5350	2.58	0.5297		0.5243		0.5190				
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円				
			LPG原単位		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
0.0065	3.00	0.00644		0.00637		0.00631							
kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円							
灯油原単位			使用しない		使用しない		使用しない						
0	2.49	kg-CO2/万円		kg-CO2/万円		kg-CO2/万円							
合計CO2原単位(kg-CO2/万円)		4.425	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	kg-CO2/万円	3	%削減		
			kg-CO2/万円	4.380		4.336		4.292					
			kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円以下		kg-CO2/万円以下		kg-CO2/万円以下					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量(2018~2022年度平均)		2018~2022年度平均に対し	1	%削減	2018~2022年度平均に対し	2	%削減	2018~2022年度平均に対し	3	%削減
			1,707.9	1,691		1,674		1,657					
		kg/年	kg/年以下		kg/年以下		kg/年以下						
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量(2018~2022年度平均)		2018~2022年度平均に対し	1	%削減	2018~2022年度平均に対し	2	%削減	2018~2022年度平均に対し	3	%削減
11,102.7	10,992		10,881		10,770								
			kg/年	kg/年以上		kg/年以上		kg/年以上					
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	
		382	378.2		374.4		370.5						
		m ³ /年	m ³ /年以下		m ³ /年以下		m ³ /年以下						
4	化学物質の適正管理	化学物質保管量		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理		化学物質の適正管理					
		14.2	kg/年		kg/年		kg/年						
5	M社の不良率の削減	不良率		基準値に対し	1	%改善	基準値に対し	2	%改善	基準値に対し	3	%改善	
		0.17	0.168		0.167		0.165						
		%/年	%以下		%以下		%以下						

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018・2019・2020・2021・2022年度の平均を基準値にする。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

5-1. 環境経営計画

2023年度

環境経営計画(本社大和工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
					2023年6月～2024年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①時間外申請シートの活用(効率的な作業)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			②2Dレーザー加工機→メンテナンス		
			③不要照明の消灯		
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)		
			⑤空気圧縮機の吐出圧を現状から0.05MPa下げる		
			⑥エアークップリングをメガフローカップリングに変更		
			⑦2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる		
		ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)		
軽油	①新車4トントラック交換	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →		
	②スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成)				
	③エコドライブの実践(車内に掲示)				
	④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)				
LPG	①湯沸かし器の点検(1F)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →		
	②夏場の湯沸かし器の使用を控える				
灯油	①灯油は購入しません(使用しません)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →		
	CO ₂ 総量計(kg-CO ₂)	(2023年度目標値)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →	
	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	4.7002 (2023年度目標値)			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター-排紙のリサイクル化の徹底	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →
			②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする)		
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文	製造管理部 小山	(左記達成手段全て) →
	②廃棄物の分別管理の徹底				
	③端材材料を優先してネスティングに使用				
	④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文				
3	水使用量の削減	①水漏れ箇所点検(1週間1回)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て) →	
4	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理)	製造管理部 小山	(左記達成手段全て) →	
		②新規の購入はしない			
		③期末に保管量・使用量を把握する			
5	M社の不良率の削減	①丁寧なつづし込み	総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て) →	
		②出口検査の根本的改善			
		③予防措置の投資			

5-2. 環境経営計画

2023年度

環境経営計画(群馬工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
					2023年6月~2024年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①設備メンテナンス(2Dレーザー・ベンダー)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			②フィルターの清掃(1/月)		
			③不要照明の消灯		
			④エアリークをなくす		
			⑤窒素加工用プスターの待機時間を削減する		
		ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			②移動を集約し消費量を削減に努める		
			③フォークリフト・トラックメンテナンス		
		軽油	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			②移動を集約し消費量を削減に努める		
③フォークリフト・トラックメンテナンス					
LPG	①夏場の湯沸かし器の使用を控える	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →		
	②温度設定を低くする				
灯油	①灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →		
	CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	(2023年度目標値)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
	CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	3.8434 (2023年度目標値)			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①コピー紙の裏面の積極的な利用	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			②資源ごみの分別の徹底(再資源化しやすくする)		
	産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①廃棄物の分別管理の徹底	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
		②端材材料分別の徹底			
3	水使用量の削減		①節水の意識を高める	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
4	化学物質の適正管理		①ケミカライスは購入しない	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
5	M社の不良率の削減		①丁寧なつづし込み	総合管理部 蓬生 (本社大和工場)	(左記達成手段全て) →
			②出口検査の根本的改善		
			③予防措置の投資		

5-3. 環境経営計画

2023年度

環境経営計画(全工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール	
					2023年6月～2024年5月	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①時間外申請シートの活用(効率的な作業)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
			②2Dレーザー加工機・ベンダーメンテナンス			
			③不要照明の消灯			
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)			
			⑤エア漏れをなくす			
			⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる			
			⑦フィルターの清掃(1/月)			
			⑧窒素加工用プスターの待機時間を削減する			
			⑨空気圧縮機の吐出圧を現状から0.05MPa下げる			
			⑩エアカップリングをメガフローカップリングに変更			
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
				②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)		
				③フォークリフト・トラックメンテナンス		
				④移動を集約し消費量削減に努める		
			軽油	①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
				②エコドライブの実践(車内に掲示)		
LPG	③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)			
	④フォークリフト・トラックメンテナンス					
灯油	⑤移動を集約し消費量を削減に努める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)			
	⑥新車4トントラック交換					
CO ₂ 総量計(kg-CO ₂)	(2023年度目標値)	本社大和工場技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)			
CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	4.3800 (2023年度目標値)					
2	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする)				
		③コピー用紙の裏面の積極的な利用				
		④資源ごみの分別の徹底				
	産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②廃棄物の分別管理の徹底				
		③端材材料分別の徹底				
		④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文				
		⑤端材材料を優先してネスティングに使用				
3	水使用量の削減	①節水の意識を高める	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②水漏れ箇所の点検				
4	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理)	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②新規の購入はしない				
		③期末に保管量・使用量を把握する				
		④ケミライスは購入しない				
5	M社の不良率の削減	①丁寧なつづし込み	本社大和工場総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て)		
		②出口検査の根本的改善				
		③予防措置の投資				

6-1. 環境経営目標の実績

2023年度

経営環境目標の実績(本社大和工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2換算係数	運用期間(2023年6月~2024年5月)		
			2022年度(一般廃棄物・産業廃棄物・不良率を除く)		目標	実績	評価
	原単位指標	売上高	32450		32400	35221	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	0.474 (東電)	基準値に対し 1%削減	実績	○ 16.58%削減
			3.8070		3.7689	3.1440	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年	
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	2.320	基準値に対し 1%削減	実績	○ 1.37%削減
			0.2130		0.2109	0.2080	
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年		
			軽油原単位	2.58	基準値に対し 1%削減	実績	○ 3.50%削減
			0.7210		0.7138	0.6888	
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年		
		LPG原単位	3.00	基準値に対し 1%削減	実績	○ 7.57%削減	
		0.0067		0.0066	0.0061		
		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年			
灯油原単位	2.49	使用しない	実績	○			
0		0					
kg-CO2/万円	kg-CO2/年						
CO2原単位(kg-CO2/万円)			基準値に対し 1%削減	実績	○ 13.89%削減		
4.7477	4.7002	4.0471	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円			
CO2総量計(kg-CO2)	142544.5						
		kg-CO3/年					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		2018~2022年度平均に対し 1%削減	実績	○ 81.73%削減
			450.0		445.5	81.39	
		kg/年	kg/年	kg/年			
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量		2018~2022年度平均に対し 1%削減	実績	○ 91.79%削減
3,089	3,059		2,490				
kg/年	kg/年	kg/年					
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 1%削減	実績	○ 11.29%削減	
		279		276.2	245.0		
		m ³ /年		m ³ /年	m ³ /年		
4	化学物質の適正管理(リサイクル洗浄シンナー)	化学物質保管量		保管量	期末保管量	○	
		14.2		14.2	14.2		
		%		%/3ヶ月以上	kg/年		
5	M社の不良率の削減	年間不良率		基準値に対し 1%改善	実績	× 32.14%増加	
		0.17		0.168	0.390		
		%/年		%/年	%/年		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エネルギーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018~2021年度の平均を基準値にする。

※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量(残量)とする。

6-2. 環境経営目標の実績

2023年度

経営環境目標の実績(群馬工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値		運用期間(2023年6月~2024年5月)		
			2022年度(一般廃棄物・産業廃棄物・不良率を除く)	CO2換算係数	目標	実績	評価
	原単位指標	売上高	19,340		18000	18964	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	0.474 (東電)	基準値に対し 1 %削減	実績	○ 2.16%削減
			3.3750		3.3413	3.2690	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年	
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	2.320	基準値に対し 1 %削減	実績	× 21.06%増加
			0.2790		0.2762	0.3380	
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年		
			軽油原単位	2.58	基準値に対し 1 %削減	実績	○ 32.21%削減
		0.2220	0.2198		0.1490		
		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年			
		LPG原単位	3.00	基準値に対し 1 %削減	実績	△ 3.27%増加	
0.0062	0.0061			0.0063			
kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年					
灯油原単位	2.49	使用しない	実績	○			
0		0					
kg-CO2/万円	kg-CO2/年						
CO2原単位 (kg-CO2/万円)	3.8822	基準値に対し 1 %削減	実績	○ 2.09%削減			
		3.8434	3.7630				
kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円					
CO2総量計 (kg-CO2)	71354.87						
		kg-CO2/年					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		2018~2022年度平均に対し 1 %削減	実績	○ 9.23%削減
			1,258		1,245	1,130	
		kg/年	kg/年	kg/年			
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量		2018~2022年度平均に対し 1 %削減	実績	○ 91.75%削減
19,116.0	18,924.8		1,560.0				
kg/年	kg/年	kg/年					
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 1 %削減	実績	△ 5.00%増加	
		101		100	105		
		m ³ /年		m ³ /年	m ³ /年		
4	化学物質の適正管理(ケミーライト)	化学物質保管量		保管量	期末保管量	○	
		0		0	0		
		%		%/3ヶ月以上	kg/年		
5	M社の不良率の削減	年間不良率		基準値に対し 1 %改善	実績	× 32.14%増加	
		0.17		0.168	0.390		
		%/年		%/年	%/年		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。
 ※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。
 ※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。
 ※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。
 ※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018~2021年度の平均を基準値にする。
 ※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量(残量)とする。

6-3. 環境経営目標の実績

2023年度

経営環境目標の実績(全工場)



No	環境経営方針項目など	環境経営目標項目	基準値	CO2 換算係数	運用期間(2023年6月~2024年5月)		
			2022年度(一般廃棄物・産業廃棄物・不良率を除く)		目標	実績	評価
	原単位指標	売上高	51790		50000	54185	○
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	0.474 (東電)	基準値に対し 1 %削減	実績	○ 11.65%削減
			3.6450		3.6086	3.1880	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年	
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	2.320	基準値に対し 1 %削減	実績	× 7.38%増加
			0.2380		0.2356	0.2530	
			kg-CO2/万円		kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年	
			軽油原単位	2.58	基準値に対し 1 %削減	実績	○ 5.60%削減
			0.5350		0.5297	0.5000	
			kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年		
		LPG原単位	3.00	基準値に対し 1 %削減	実績	○ 1.56%削減	
		0.0065		0.0064	0.0063		
		kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/年			
灯油原単位	2.49	使用しない	実績	○			
0		0					
kg-CO2/万円	kg-CO2/年						
CO2原単位 (kg-CO2/万円)	4.425		基準値に対し 1 %削減	実績	○ 9.86%削減		
			4.380	3.948			
kg-CO2/万円	kg-CO2/万円以下	kg-CO2/万円					
CO2総量計 (kg-CO2)	213899.37						
			kg-CO3/年				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		2018~2022年度平均に対し 1 %削減	実績	○ 28.35%削減
			1,708		1,691	1,211	
		kg/年	kg/年	kg/年			
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量		2018~2022年度平均に対し 1 %削減	実績	○ 63.15%削減
11,102.7	10,991.7		4,050.0				
kg/年	kg/年	kg/年					
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 1 %削減	実績	○ 6.66%削減	
		382		378	353		
		m ³ /年		m ³ /年	m ³ /年		
4	化学物質の適正管理 (リサイクル洗浄シンナー)	化学物質保管量		保管量	期末保管量	○	
		14.2		14.2	14.2		
		kg/年		kg/年	kg/年		
5	M社の不良率の削減	年間不良率		基準値に対し 1 %改善	実績	× 32.14%増加	
		0.17		0.168	0.390		
		%/年		%/年	%/年		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

※環境経営目標項目は、実績が目標値以下で達成「○」、+5%未満でほぼ達成「△」、+5%以上で未達成「×」と評価する。

※年度表記は6月~5月の会計年度と同一期間を適用した。

※原単位を環境経営目標と設定。CO2排出量を目標から外す。

※一般廃棄物排出量・産業廃棄物排出量は2018~2021年度の平均を基準値にする。

※化学物質の適正管理の基準値は年度初めの化学物質の保管量(残量)とする。

7-1.a 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7-1.b 環境経営計画の取組結果とその評価 (本社大和工場)



No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容	評価	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①時間外申請シートの活用(効率的な作業)	技術管理部 室宮	①～⑦までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○	
			②2Dレーザー加工機→メンテナンス				
			③不要照明の消灯				
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)				
			⑤空気圧縮機の吐出圧を現状から0.05MPa下げる				
			⑥エアークップリングをメガフローカップリングに変更				
			⑦2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる				
		化石燃料使用量の削減	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	技術管理部 室宮	①と②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
				②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)			
軽油	①新車4トントラック交換	技術管理部 室宮	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○			
	②スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成)						
LPG	③エコドライブの実践(車内に掲示)	技術管理部 室宮	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○			
	④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)						
灯油	①湯沸かし器の点検(1F)	技術管理部 室宮	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○			
	②夏場の湯沸かし器の使用を控える						
	①灯油は購入しません(使用しません)	技術管理部 室宮	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○			
	CO ₂ 総量計[灯油含む](kg-CO ₂)	142,545	技術管理部 室宮	CO ₂ 原単位目標の4.7001に対して実績4.0471で目標達成	○		
	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	4.0471					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底	技術管理部 室宮	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○	
			②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする)				
	産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文	製造管理部 小山	①～④の項目を実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○		
②廃棄物の分別管理の徹底							
③端材材料を優先してネ스팅に使用							
④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文							
3	水使用量の削減	①水漏れ箇所点検(1週間1回)	技術管理部 室宮	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○		
4	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理)	技術管理部 室宮	①～③の項目を実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○		
②新規の購入はしない							
③期末に保管量・使用量を把握する							
5	M社の不良率の削減	①丁寧なつづし込み	総合管理部 達生	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×		
②出口検査の根本的改善							
③予防措置の投資							

7-2.a 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7-2.b 環境経営計画の取組結果とその評価 (群馬工場)



No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①設備メンテナンス(2Dレーザー・ペンダー)	製造管理部 飯野	①～⑤までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
			②フィルターの清掃(1/月)			
			③不要照明の消灯			
			④エアリークをなくす			
			⑤窒素加工用プスターの待機時間を削減する			
		ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
			②移動を集約し消費量を削減に努める			
			③フォークリフト・トラックメンテナンス			
		軽油	①エコドライブの実践(車内に掲示)	製造管理部 飯野	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
②移動を集約し消費量を削減に努める						
③フォークリフト・トラックメンテナンス						
LPG	①夏場の湯沸かし器の使用を控える	製造管理部 飯野	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 △		
	②温度設定を低くする					
灯油	①灯油ストーブとエアコンの平行使用	製造管理部 飯野	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○		
	CO ₂ 総量計[灯油含む](kg-CO ₂)	71,355	製造管理部 飯野	CO ₂ 原単位目標の3.843に対して実績3.763で目標達成	○	
	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	3.763				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の裏面の積極的な利用	製造管理部 飯野	①②までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
			②資源ごみの分別の徹底			
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①廃棄物の分別管理の徹底	製造管理部 飯野	①②までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
			②端材材料分別の徹底			
3	水使用量の削減		①節水の意識を高める	製造管理部 飯野	①の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 △
4	化学物質の適正管理		①ケミーライトは購入しない	製造管理部 飯野	ケミーライトは購入してません	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
5	M社の不良率の削減		①丁寧なつづし込み	総合管理部 蓬生 (本社大和工場)	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
			②出口検査の根本的改善			
			③予防措置の投資			

7-3.a 環境経営計画に基づき実施した取組内容
7-3.b 環境経営計画の取組結果とその評価 (全工場)



No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	実施した取組内容	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①時間外申請シートの活用(効率的な作業)	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～⑩までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
			②2Dレーザー加工機・コンプレッサー→メンテナンス			
			③不要照明の消灯			
			④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)			
			⑤エア漏れをなくす			
			⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる			
			⑦フィルターの清掃(1/月)			
			⑧窒素加工用プスターの待機時間を削減する			
			⑨空気圧縮機の吐出圧を現状から0.05MPa下げる			
			⑩エアカップリングをメガフローカップリングに変更			
		ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示) ②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握) ③フォークリフト・トラクターメンテナンス ④移動を集約し消費量を削減に努める	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×
軽油	①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成) ②エコドライブの実践(車内に掲示) ③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握) ④フォークリフト・トラクターメンテナンス ⑤移動を集約し消費量を削減に努める ⑥新車4トントラック交換	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～⑥までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○		
LPG	①湯沸かし器の点検(1F) ②夏場の湯沸かし器の使用を控える ③温度設定を低くする	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○		
灯油	①灯油は購入しません(使用しません) 本社大和工場 ②灯油ストーブとエアコンの平行使用 群馬工場	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○		
CO ₂ 総量計〔灯油含む〕(kg-CO ₂)	213,899	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	CO ₂ 原単位目標の4,3800iに対して実績3,948で目標達成	○		
CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /万円)	3.948					
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする。) ③コピー用紙の裏面の積極的な利用 ④資源ごみの分別の徹底	技術管理部 室宮 製造管理部 飯野	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料分別の徹底 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文 ⑤端材材料を優先してネスティングに使用	製造管理部 小山 製造管理部 飯野	①～⑤までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○
3	水使用量の削減	①節水の意識を高める ②水漏れ箇所の点検	営業技術部 室宮 製造管理部 飯野	①②の項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○	
4	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理) ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する ④ケミーライトは購入しない	製造管理部 小山 製造管理部 飯野	①～④までの項目について実行しました	目標達成手段を実施し目標を達成 ○	
5	M社の不良率の削減	①丁寧なつづし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	①～③までの項目について実行しました	目標達成手段を実施しましたが目標は達成に至らず ×	



2024年度

次年度の環境経営目標と環境経営計画(本社大和工場)

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール	
						2024年6月～2025年5月	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 3.1130 kg-CO2/万円	①時間外申請シートの活用(効率的な作業)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)	
				②2Dレーザー加工機→メンテナンス			
				③不要照明の消灯			
				④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)			
				⑤空気圧縮機の吐出圧を現状から0.05MPa下げる			
				⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる			
				⑦2Dレーザー加工機の撤去			
化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.2060 kg-CO2/万円	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)		
			②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)				
			③スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成)			技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)
			④エコドライブの実践(車内に掲示)				
			⑤2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)				
LPG原単位 0.00607 kg-CO2/万円	LPG	①湯沸かし器の点検(1F)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)			
		②夏場の湯沸かし器の使用を控える					
灯油原単位 0 kg-CO2/万円	灯油	①灯油は購入しません(使用しません)	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)			
	CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	4.0067 (kg-CO ₂ /万円)		技術管理部 室宮			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 384.7 Kg	①シュレッター排紙のリサイクル化の徹底	技術管理部 室宮	(左記達成手段全て)	
				②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする)			
	産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量 2,901.7 Kg	①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料を優先してネ스팅に使用 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文	製造管理部 小山	(左記達成手段全て)		
3						水使用量の削減	水使用量 242.6 m ³
4	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理)	製造管理部 小山	(左記達成手段全て)		
			M社の不良率の削減			不良率 0.386 %以下	②新規の購入はしない
				③期末に保管量・使用量を把握する			
			①丁寧なつづし込み				
			②出口検査の根本的改善				
			③予防措置の投資				

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。



2024年度

次年度の環境経営目標と環境経営計画(群馬工場)

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
						2024年6月～2025年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位	①設備メンテナンス(2Dレーザー・ベンダー) ②フィルターの清掃(月1回) ③不要照明の消灯 ④エアリークをなくす ⑤窒素加工用プスターの待機時間を削減する	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			3.2365 kg-CO2/万円			
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位	ガソリン ①エコドライブの実践(車内に掲示) ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラックメンテナンス	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
			0.3343 kg-CO2/万円			
			軽油原単位	軽油 ①エコドライブの実践(車内に掲示) ②移動を集約し消費量を削減に努める ③フォークリフト・トラックメンテナンス		
		0.1479 kg-CO2/万円				
		LPG原単位	LPG ①夏場の湯沸かし器の使用を控える ②温度設定を低くする	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
0.00626 kg-CO2/万円						
灯油原単位	灯油 ①灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用)	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →			
0 kg-CO2/万円						
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	3.7250 (kg-CO ₂ /万円)		製造管理部 飯野	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,224.1 Kg	①コピー用紙の裏面の積極的な利用 ②資源ごみの分別の徹底	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量 16,028.1 Kg	①廃棄物の分別管理の徹底 ②端材材料分別の徹底		
3	水使用量の削減	水使用量 104 m ³	①節水の意識を高める	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
4	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	①ケミーライトは購入しない	製造管理部 飯野	(左記達成手段全て) →	
5	M社の不良率の削減	不良率 0.386 %以下	①丁寧なつぎ込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て) →	

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。



2024年度

次年度の環境経営目標と環境経営計画(全工場)

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール
						2024年6月～2025年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力原単位 3.1560 kg-CO2/万円	①時間外申請シートの活用(効率的な作業)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
				②2Dレーザー加工機・コンプレッサ→メンテナンス		
				③不要照明の消灯		
				④2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により電気使用量の数字の報告(現状の把握)		
				⑤エアー漏れをなくす		
				⑥2Dレーザー加工機の電源は使用時のみ立ち上げる		
				⑦フィルターの清掃(1/月)		
				⑧窒素加工用プスターの待機時間を削減する		
				⑨エアーカップリングをメガフローカップリングに変更		
		化石燃料使用量の削減	ガソリン原単位 0.2509 kg-CO2/万円	ガソリン	①エコドライブの実践(車内に掲示)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野
②2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示によりガソリン使用量の数字の報告(現状の把握)						
軽油原単位 0.4951 kg-CO2/万円	軽油		①スケジュール運行(2ヶ月間のスケジュール表を作成)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
			②エコドライブの実践(車内に掲示)			
			③2～3ヶ月に一度回覧板若しくは掲示により軽油使用量の数字の報告(現状の把握)			
LPG原単位 0.00614 kg-CO2/万円	LPG	①湯沸かし器の点検(1F)	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②夏場の湯沸かし器の使用を控える				
灯油原単位 0 kg-CO2/万円	灯油	①灯油は購入しません(使用しません) 本社大和工場	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)		
		②灯油ストーブは使用しない。(エアコンの使用)				
	CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	3.9081 (kg-CO ₂)				
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 1,607.8 Kg	①シュレッター排紙のリサイクルの徹底 ②廃棄物の分別管理の徹底(再資源化しやすくする) ③コピー用紙の裏面の積極的な利用 ④資源ごみの分別の徹底	本社大和工場技術管理部 室宮 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
		産業廃棄物排出量の削減(有価物は除く)	廃棄物排出量 19,002.1 Kg	①パイプ・アングル材の寸法カット注文 ②廃棄物の分別管理の徹底 ③端材材料分別の徹底 ④板材主要頻度が少ない材料は使用寸法での注文 ⑤端材材料を優先してネスタイングに使用	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)
3	水使用量の削減	水使用量 394.5 m ³	①節水の意識を高める ②水漏れ箇所の点検(1週間1回)	本社大和工場技術管理部 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
4	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	①適正維持の徹底(消防法に則った保管管理) ②新規の購入はしない ③期末に保管量・使用量を把握する ④ケミーライトは購入しない	本社大和工場製造管理部 小山 群馬工場製造管理部 飯野	(左記達成手段全て)	
5	M社の不良率の削減	不良率 0.386 %以下	①丁寧なつづし込み ②出口検査の根本的改善 ③予防措置の投資	本社大和工場総合管理部 蓬生	(左記達成手段全て)	

※二酸化炭素の排出削減は2021年度から原単位を環境経営目標にいたします。

9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



区分	環境関連法規等名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(一般廃棄物の処理)	2024.9.3	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(産業廃棄物の処理)	2024.9.3	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	2024.9.3	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)	2024.9.3	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	2024.9.3	○
	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環促進法)	2024.9.3	○
騒音・振動	騒音規制法	2024.9.3	○
	振動規制法	2024.9.3	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例 32条	2024.9.3	○
	群馬県の生活環境を保全する条例 63条,64条	2024.9.3	○
	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律(本社工場のみ対象)	2024.9.3	○
大気汚染	フロン排出抑制法	2024.9.3	○
	自動車Nox・PM法(排ガス抑制法)	2024.9.3	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例 94条	2024.9.3	○
水質汚濁	浄化槽法(群馬工場のみ対象)	2024.9.3	○
労働者の安全と健康の確保	労働安全衛生法	2024.9.3	○
	特定化学物質障害予防法	2024.9.3	○

当社に關係する環境関連法規等は上記の通りです。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し 結果報告書



見直し実施日	2024年8月28日 (<input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し)	
見直し対象期間	2023年 6月 1日 ~ 2024年 5月 31日	
出席者	専務(環境管理責任者)・小山課長・飯野課長・和田課長・深谷課長・室宮課長 場所: 両工場モニター画面前(Web会議)	
前回の見直し記録より指示への取組結果	2023年度は2022年度を評価の基準として挑みました。二酸化炭素排出原単位を評価の基準にして(二酸化炭素排出量は指標)、1%を評価目標に掲げました。全社の二酸化炭素排出原単位項目の電力原単位・軽油原単位・LPG原単位・灯油原単位に関しましては目標を達成しました。ガソリン原単位は基準値に対して約6%原単位が上がりました。廃棄物排出量は2018~2022年度の平均を基準とし、基準の1%の削減で挑みまして目標値を達成しました。水使用量は2022年度を評価の基準とし、基準の1%削減で挑みまして目標値を達成しました。新メンバーには倉庫の照明のLED化を進め、LED化を達成しました。	
見直しに必要な情報	①2023年度 環境経営目標の実績[全社・本社大和工場・群馬工場] ②2023年度 環境経営目標及び環境経営計画書(兼 実績・評価表)[全社・本社大和工場・群馬工場] ③2024年度 環境経営目標設定表[全社・本社大和工場・群馬工場] ④2024年度 環境経営計画[全社・本社大和工場・群馬工場] ⑤2018~2023年度までの環境への負荷の状況(取りまとめ表)[全社・本社大和工場・群馬工場]	
代表者による評価	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①~⑤を踏まえて評価)	
	《重点課題: CO2排出量の削減》2022年度の二酸化炭素排出原単位(4.4245kg-CO2/万円)に対し2023年度の実績二酸化炭素排出原単位3.9480kg-CO2/万円で約10%の削減。売上げは2022年度(51760万円)に対して2023年度(54185万円)は約4.5%の増加となり、二酸化炭素排出量は2.4%減少しています。環境経営方針の重点課題のCO2排出量の削減が目標を達成していますので環境経営システムは有効に機能しています。	
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】(②を踏まえて評価)	
	目標項目	目標達成状況 経営計画実施状況 目標・経営計画実施状況の評価(達成の場合: 目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合: 原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	二酸化炭素排出の削減	○ ○ 《重点課題: CO2排出量の削減》2022年度の二酸化炭素排出原単位(4.4245kg-CO2/万円)に対し2023年度の実績二酸化炭素排出原単位3.9480kg-CO2/万円で約10%の削減。売上げは2022年度(51760万円)に対して2023年度(54185万円)は約4.5%の増加となり、二酸化炭素排出量は2.4%減少しています。問題点は特にないので次年度も同一の方向性です。
	廃棄物排出量の削減	○ ○ 一般廃棄物は2022年度の1708kgに対して2023年度は1211.4kgで約30%の削減、産業廃棄物は2022年度の11102.7kgに対して4050kgで約36%の削減。大量な廃棄物が2023年度はなかったため削減率が大きくなりました。問題点は特にないので次年度も同一の方向性です。
水使用量の削減	○ ○ 2022年度の382㎡の基準に対して2023年度は353㎡で約7.6%の使用量の減少。上水道、下水道、浄化槽に関するトラブルはありません。次年度も同一の方向性です。	
化学物質使用量の削減	○ ○ 2021年度に本社大和工場はリサイクル洗浄シンナーを購入しました。購入しましたが栓を開けません。一度も使用してませんので初期保管量と期末保管量は同一値です。群馬工場はケミラーは購入していません。使用してません。方向性に変更はありません。	
M社の不良率の削減	× ○ 2022年度の年間不良率0.17%に対して2023年度の年間不良率は0.390%で倍以上数値が低下しました。要因としては検査の要点に変化が生じて、今までは問題なかったことが承認されなくなってきたことで不良率が上がっています。今後は要点の変化に対応していきます。	
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的な指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	現在の環境経営方針を維持する。	
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	環境経営目標は基準値を2023年度(一般廃棄物・産業廃棄物を除く)とし、基準値に対して1%の削減で挑みます。廃棄物排出量の削減は2018~2023年度の平均の1%の削減で挑みます。	
	【実施体制】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	現在の実施体制を維持します。	
【環境経営システム】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
現在の環境経営システムを維持する。		
【総括】(環境活動レポートに転記)		
CO2排出量の削減に関しましては、現状の設備・施設等での工夫では限界を感じています。新しい技術を持ち合わせている設備・施設が必要です。資金面の問題もありますので計画性をもって取組んでいきます。全従業員に対する環境経営教育は『サーキュラーエコノミー(循環型経済)』を題材にモニター画面を使用して、海外・国内の企業が行っている循環システムを紹介し、今後の企業のあり方を勉強しました。		

注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。
②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。
③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。



11.「持続可能な」活動を考える

中小板金企業における
SDGsのかたち



株式会社鈴木工業





SDGs

SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

SDGs
その他の活動

活動目標の設定にあたり

50人規模の中小企業として、何ができるのか？
板金製造業という業態の中で、「持続可能な」活動とは何か？
2031年以降も「持続可能な」活動目標を設定できるのか？



無理に新しいことをはじめるのではなく、
実際に行っている活動を軸として、
目標を設定しよう！

SDGs - Sustainable Development Goals -

当社の選択した活動内容



10ゴールズ 17ターゲット



SDGs

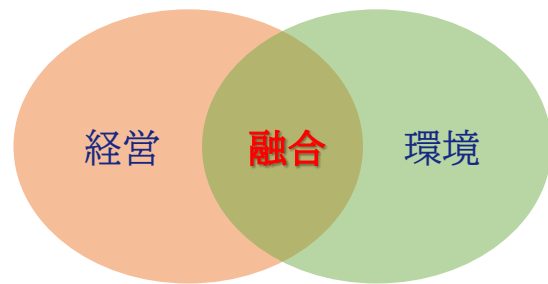
SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

SDGs
その他の活動

エコアクション21

環境と経営の融合



中小規模である、私たちだからこそ できる形とは、
「環境負荷の少ない事業活動」や「環境に配慮した製品提供」に尽力することで、
「経営資源(ヒト・モノ・カネ)の見える化」へ繋げるための「融合」と考えます。



SDGs

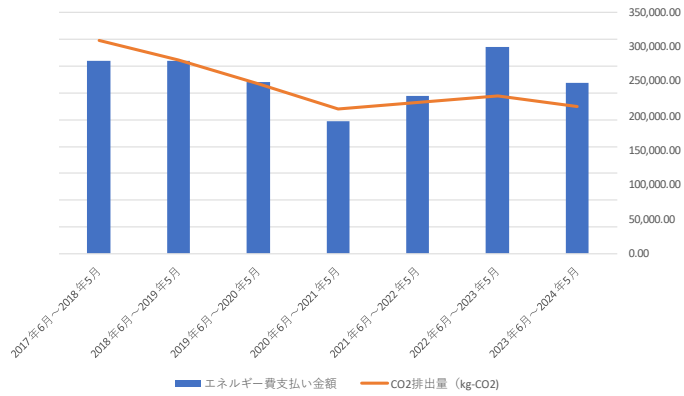
SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

SDGs
その他の活動

エコアクション21

CO²(二酸化炭素)排出量の削減活動



「生産設備の省エネ化」「ガソリン・軽油の使用削減」「化石燃料の使用削減」
「産廃の排出削減」「水使用量の削減」などを実現しました。

これらの結果には、

『生産効率の向上』と『QCDの安定』が大きく相互作用しております。

エコアクション21

例①:生産設備の省エネ化(運用編)



2Dレーザー加工機(イメージ)



コンプレッサ(イメージ)

設備更新を頻繁におこなえば、もちろん「省エネ効果」は得られます。
加えて、運用面で工夫することにより、さらなる削減が期待できます。

- ・綿密な生産工程の調整により加工機の「電源OFF」時間を作る
- ・コンプレッサの吐出圧力を「支障のない範囲まで低減設定」する

など

エコアクション21

例②:敷地内外の倉庫をLED化



生産エリアに続き 敷地内外の在庫保管倉庫をLED化

例③:プルスイッチ蛍光灯の導入



使用する箇所だけ点灯させることで電気量を削減



エコアクション21

訓練・勉強会



SDGs

SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

SDGs
その他の活動



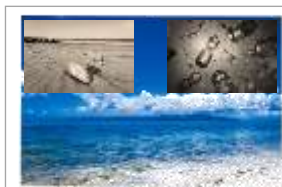
消火訓練



広域避難場所移動訓練



油漏洩処理訓練



海洋プラスチック汚染



サーキュラーエコノミー



カーボンフットプリント



SDGs

SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

SDGs
その他の活動

健康経営優良法人

認定までの手順



第一段階：健康保険協会へのアプローチ

- ① 協会けんぽ「かながわ健康企業宣言」にエントリー
- ② 「**かながわ健康企業宣言証**」を社内に掲示
- ③ 社内で取り組み内容の実績づくり
- ④ 協会けんぽ「報告用チェックシート」にて実績内容を提出
- ⑤ 要求を満たすことで「**健康優良企業**」に認定



ステップアップ

第二段階：経済産業省へのアプローチ

- ⑥ 経済産業省「健康経営優良法人」に申請
- ⑦ 要求を満たすことで「**健康経営優良法人**」に認定





SDGs

SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

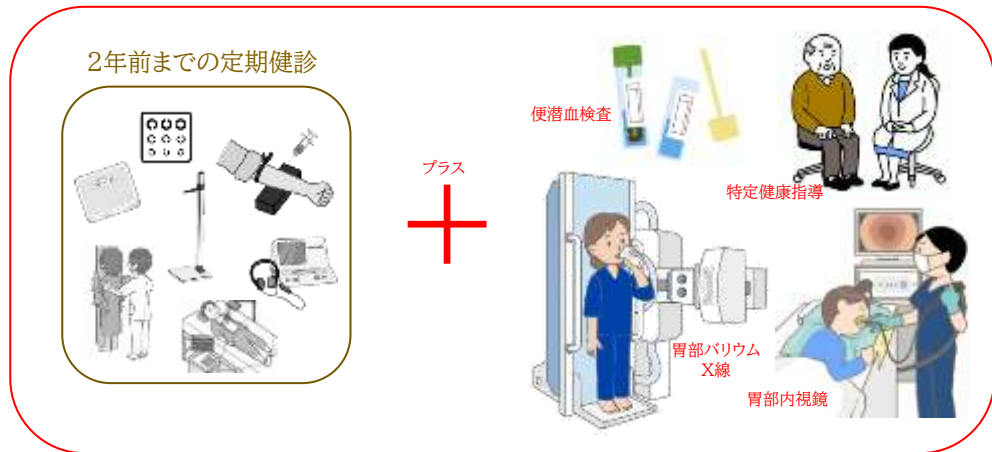
SDGs
その他の活動

健康経営優良法人

取り組み例(生活習慣病 予防健診)



現在の生活習慣病 予防健診





SDGs

SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

SDGs
その他の活動

健康経営優良法人

効果例(従業員の早期がん発見)



便潜血検査にて「出血」が確認され、
精密検査の結果「大腸がん」で
あることが判明。

貴重な戦力として、業務復帰を
果たしています！



SDGs

SDGs
エコアクション21

SDGs
健康経営優良法人

SDGs
その他の活動

その他の活動

紛争鉱物対応



アフリカ諸国周辺の強制労働、奴隷制、人身売買などの根拠となる、

3TG

- | | |
|--------|----------|
| 錫 | Tin |
| タンタル | Tantalum |
| タングステン | Tungsten |
| 金 | Gold |

間接的調達となりうる、

副資材、めっき等の表面処理を中心に購入品の切替や仕様変更を提案してゆく活動を継続してまいります。

